



28-29 March 2020

The 27th Annual Meeting of
Excavations in West Asia



ワーディー・アッ=サイル古墳171号墓出土人骨 [パハレーン]



シャカル・テペ遺跡とザグロス山脈 [イラク・クルディスタン]



シス・トベ(シャフリスタン)全景 [キルギス共和国]

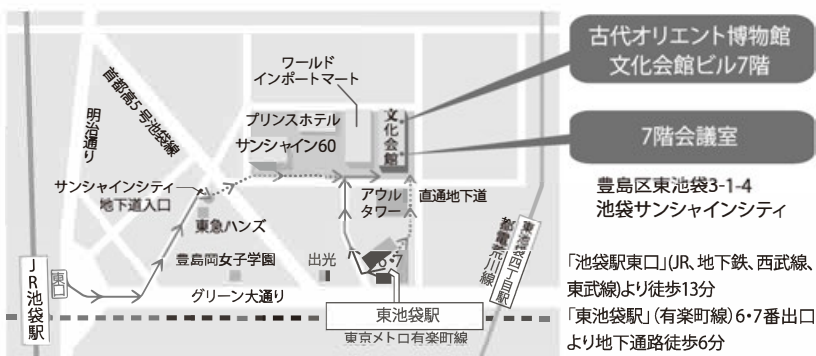
第27回 考古学が語る古代オリエント 西アジア発掘調査報告会 —2019年度発掘調査の速報—

2020年3月28日(土)・29日(日)

主 催: 日本西アジア考古学会・古代オリエント博物館

後 援: 国士舘大学イラク古代文化研究所・日本考古学協会
早稲田大学エジプト学研究所

会 場: 池袋サンシャインシティ文化会館ビル 7階会議室705室



定 員: 各日先着150名(事前申込不要)

※座席数に限りがあり、入場できない場合もございます。
あらかじめご了承ください。

参加費: 1,000円(資料代含む)

※ただし日本西アジア考古学会会員および古代オリエント博物館
友の会会員は500円。

※参加費は「両日参加」「1日のみ参加」でかわりません。

※参加者には資料「第27回西アジア発掘調査報告会報告集」配布

参加者は当日の古代オリエント博物館入館無料

※報告会当日、上記資料を博物館受付でご呈示ください。

コレクション展および下記展示を無料でご覧いただけます。

クローズアップ展「西アジア調査報告2019: パハレーンで

古墳を掘る—パハレーン、マカバ古墳群の調査」開催中

[2020年2月22日(土)～3月29日(日)]

※開館時間: 10:00～17:00 (入館は16:30まで)



サッカラ出土石碑(左)、イシス・アフロディーテ女神像(右) [エジプト]



©金沢大学河合望研究室

第27回 西アジア発掘調査報告会 プログラム

※発表者が複数の場合も1名(団長、会員)のみが記載されています。また、当日発表する方とは一致しない場合もあります。

発表順などは変更されることがあります。日本西アジア考古学会 検索
最新情報はウェブページでご確認ください。 <http://jswaa.org>

2020年 3月28日(土)	
10:00-10:30	開場・受付
10:30-10:40	開会の辞
クルディスタンの調査	
10:40-11:05	報告① 肥沃な三日月地帯東部の新石器化 —イラク・クルディスタン、スレマニ地域チャルモ遺跡の調査(2019)— 筑波大学人文社会系教授 常木 晃
11:05-11:30	報告② 新石器化と都市化のはざま —イラク・クルディスタン、シャカル・テベ遺跡の第1次発掘調査(2019年)— 金沢大学国際文化資源学研究センター特任准教授 小高 敬寛
11:30-11:55	報告③ アッシリア帝国東部辺境を掘る —イラク・クルディスタン、ヤシン・テベ考古学プロジェクト・第4次(2019年)— 中部大学准教授 西山 伸一
11:55-13:00 昼食休憩 (65分)	
レヴァントの調査	
13:00-13:25	報告④ ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 —南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2019年)— 名古屋大学博物館講師 門脇 誠二
13:25-13:50	報告⑤ アナハラの歴史解明へ向けて —イスラエル、テル・レヘシュ第12次発掘調査(2019年)— 東京文化財研究所文化遺産国際協力センターアソシエイトフェロー 間舎 裕生
13:50-14:15	報告⑥ レヴァント回廊の歴史を語る —第5次(2019年)・フェニキアの港パトルーン遺跡の発掘調査— 中部大学准教授 西山 伸一
14:15-14:30 休憩 (15分)	
コーカサス、アナトリアの調査	
14:30-14:55	報告⑦ 南コーカサス地方の新石器時代 —アゼルバイジャン第12次発掘調査(2019年)— 東京大学教授 西秋 良宏
14:55-15:20	報告⑧ 初期定住集落の姿を探る —トルコ、ハッサンケイフ・ホック遺跡第6次調査(2019年)— 筑波大学人文社会系教授 三宅 裕
15:20-15:45	報告⑨ 中央アナトリアにおける銅石器時代解明へ向けて —キュルテベ遺跡北トレンチ発掘調査2019年— ノートルダム清心女子大学教授 紺谷 亮一
15:45-16:00 休憩 (15分)	
中央アジアの調査(1)	
16:00-16:25	報告⑩ 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 —第7次ウズベキスタン旧石器遺跡調査(2019年)— 東京大学教授 西秋 良宏
16:25-16:50	報告⑪ 中央アジア初期農耕牧畜民の交流から東西交渉の始まりを探る—キルギス、モル・ブラク1遺跡(第3次)、ウズベキスタン、 ダルヴェルジン遺跡(第2次)の発掘調査(2019年)— 東京藝術大学特任講師 久米 正吾
16:50-17:15	報告⑫ シルクロードの交易都市を掘る —キルギス共和国、アク・ベシム(スイヤブ)遺跡の発掘調査(2019)— 帝京大学文化財研究所教授 山内 和也
17:15-17:40	報告⑬ シルクロード天山北路の形成過程 —キルギス共和国、チュー渓谷西部の考古学踏査(2018・2019年)— 奈良文化財研究所研究員 山藤 正敏
17:40	1日目終了

懇親会 3/28(土)18:00-20:00 ※どなたでも参加できます。場所は後日ご連絡します。

事前申込制: 件名「3/28 懇親会参加」と明記し、お名前(ふりがな)をお知らせください。
申込先: E-mail: konsinkai@orientmuseum.com または Fax: 03-3590-3266
申込締切: 3/26 (木) ※準備の都合上、当日申込はできません。ご協力お願いいたします。
懇親会参加費: 一般 6,000 円・学生 5,000 円 (事前振込は 1,000 円割引)
※事前振込: 一般 5,000 円・学生 4,000 円。振込期日: 3/26 (木)
振込先: みずほ銀行 池袋支店 (店番号 230) 普通 2197205
西アジア発掘調査報告会 (ニシアジアハクツツチヨウサハコウカクイ)
※振込人名は申込者の名前をご記入ください。振込手数料はご負担いただきますようお願い申し上げます。※振込後の欠席の場合、参加費の返金はできません。

2020年 3月29日(日)	
9:40-10:10	開場・受付
中央アジアの調査 (2)	
10:10-10:35	報告⑭ アムダリヤ流域におけるクシャン期仏教遺跡の探査 —ウズベキスタン南部のズルマラ仏塔の調査(2019)— 立正大学特任講師 紺野 英二
10:35-11:00	報告⑮ シタデルを覆う火災層の調査 —ウズベキスタン、カフィル・カラ遺跡の発掘調査(2019年)— 北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター研究員 村上 智見
アラビア半島の調査	
11:00-11:25	報告⑯ 古代ディルムン王国の起源を求めて —ワーディー・アッ=サイル考古学プロジェクト2019— 東京文化財研究所研究員 安倍 雅史
11:25-11:50	報告⑰ シリア・バルミラ人の痕跡を求めて —バハレン、マカバ古墳群第1号墳第四次調査2019— 奈良県立橿原考古学研究所技術アドバイザー 西藤 清秀
11:50-13:00 昼食休憩 (70分)	
13:00-13:25	報告⑱ オマーン湾港町ディバの発掘 —アラブ首長国連邦ディバ遺跡第15〜18次調査(2017〜2019年)— 金沢大学名誉教授 佐々木 達夫
13:25-13:50	報告⑲ サウジアラビア紅海沿岸ハウラー遺跡の考古学調査(2018) —中世の港町の構造を探る— 早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏
エジプトの調査	
13:50-14:15	報告⑳ 古代エジプトクフ王第2の船発掘・保存・組み立て復原 プロジェクト—エジプト・ギザ遺跡・2019年— 東日本国際大学教授 黒河内 宏昌
14:15-14:40	報告㉑ ギザのスフィンクス神殿における3D計測調査 —エジプト・ギザ遺跡・2019年度調査— 名古屋大学高等研究院准教授 河江 肖剰
14:40-15:00 休憩 (20分)	
15:00-15:25	報告㉒ 紀元前2千年紀エジプトの葬制の変遷を探る —ダハシュール北遺跡第26次調査(2019)— 東日本国際大学エジプト考古学研究所客員教授 矢澤 健
15:25-15:50	報告㉓ ネクロポリス・テーベ研究 —エジプト、ルクソール西岸アル=コーカ地区、第11次調査— 早稲田大学文学学術院教授・早稲田大学エジプト学研究所所長 近藤 二郎
15:50-16:15	報告㉔ エジプト、北サッカラ遺跡の未知の墓地を掘る:ローマ 時代のカタコンベの発見—エジプト、北サッカラ第4次・第5次調査(2019年)— 金沢大学・新学術創成研究機構教授 河合 望
16:15-16:40	報告㉕ 第3中間期の集落址・墓地 —エジプト・アコリス遺跡の調査2018— 首都大学東京客員研究員 花坂 哲
16:40	閉会の辞
16:45	閉会

ポスター展示 (3/28-29) 於:小会場706室

※口頭発表はありません。報告集(資料)には掲載されます。

ポスター① ヨルダン南部ジャフル盆地の遊牧化
—ハラアト・ジュハイラ2号遺跡の第6次補足調査(2019年)—
金沢大学特任教授 藤井 純夫

ポスター② ウム・カイスにおけるローマ帝国からビザンツ帝国への移行(その1)
—国士舘大学ヨルダン、ウム・カイス遺跡調査—
国士舘大学イラク古代文化研究所共同研究員 松本 健

ポスター③ アラビア半島の遊牧化
—ワディ・グバイ遺跡群の第5次発掘調査(2019年)—
金沢大学特任教授 藤井 純夫

ポスター④ エジプト・デルタ地域における文化財保存の課題
—ブハイラ地方コーム・アル=ディバーウ遺跡調査から—
早稲田大学総合研究機構客員教授 長谷川 奏

※706室では、学会書籍販売ほか、関連商品の販売をおこないます。



お問い合わせ

※報告会の内容について: 日本西アジア考古学会 E-mail: office@jswaa.org または Fax: 029-853-4432
※会場アクセスについて: 古代オリエン特博物館 Tel: 03-3989-3491

